



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月9日

上場会社名 タビオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年7月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 越智 勝寛
 (氏名) 谷川 繁
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	4,140	△0.7	228	△1.7	229	△2.5	149	△1.1
2019年2月期第1四半期	4,168	0.9	232	2.1	235	1.6	151	657.8

(注)包括利益 2020年2月期第1四半期 147百万円 (1.5%) 2019年2月期第1四半期 145百万円 (239.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	22.02	—
2019年2月期第1四半期	22.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	9,183	5,835	63.5
2019年2月期	9,166	5,900	64.4

(参考)自己資本 2020年2月期第1四半期 5,835百万円 2019年2月期 5,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,234	4.5	570	△6.0	585	△5.8	356	△2.4	52.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	6,813,880 株	2019年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	9,662 株	2019年2月期	1,862 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期1Q	6,808,281 株	2019年2月期1Q	6,812,054 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年5月31日)における国内経済におきましては、米中貿易摩擦の激化による中国経済の減速等により輸出や生産に一部弱さが見られ始めたことに加え、今後は10月に予定される消費税増税による消費の落ち込み懸念等により、景気後退の可能性があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、拡大を続けるEC販売への対応と同時に、オムニチャネルを絡めたリアル店舗の強化も重要な課題となっております。こうした市場の流れに対応するためには、店頭受取や決済方法の拡充、天候やトレンドに柔軟に対応するための生産体制等、より一層お客様の利便性の追求と時代に合わせた事業モデルの再構築が求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、引き続き好立地・高効率小型店舗のテスト出店を行うと共に、タブレット端末を使った「Tabio SEARCH」を活用し、店舗受取をはじめとするオムニチャネル戦略を進めて参りました。また、4月17日に本店ECサイトをリニューアルし、検索機能向上や決済方法の拡充を行うことにより、より一層お客様にお買い求めいただきやすい内容に改修致しました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、よりハイセンスな立地での『Tabio』店舗の出店や、百貨店でのレディース・メンズ平売場における複合型ショップの構築に加え、働く女性に向けた上質で高機能な商品の企画・提案を行うことにより、『Tabio』ブランドの確立に向けて尽力してきました。さらに「Tabio SEARCH」を活用することにより、店頭のオムニチャネル化を推進し、お客様の利便性を最大化することに努めて参りました。また「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店『Tabio MEN』を中心に、「メンズソックス」を当社の新たな柱となる商品にすべく『靴下屋』『Tabio』店舗における既存メンズ売場の強化に加え、法人向け提携販売や親和性の高いメンズブランドとのコラボを行う等、新たな販路開拓に向け力を注いで参りました。

海外展開につきましては、欧州事業において、新規出店や既存店舗の運営体制の強化に継続的に取り組んで参りました。また、米国事業については、認知度向上と新規ユーザーの獲得を図るべく、新たな現地パートナーと提携し、現地でのイベント参加や米国向けの商品提案を拡充して参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店2店舗、直営店3店舗の新規出店と、直営店1店舗の退店により、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店92店舗、直営店178店舗(海外5店舗を含む)、合計270店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,140百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は228百万円(前年同期比1.7%減)、経常利益は229百万円(前年同期比2.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期(3月～5月)は、第2四半期(6月～8月)と比較して売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金528百万円が減少しましたが、売掛金356百万円、商品146百万円、有形固定資産のその他33百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて16百万円増加し、9,183百万円となりました。

負債については、電手記録債務180百万円、未払法人税等146百万円、賞与引当金90百万円減少しましたが、流動負債のその他277百万円、買掛金231百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて81百万円増加し、3,348百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて65百万円減少し、5,835百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.4%から63.5%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期における通期の業績予想につきましては、2019年4月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,393,547	2,865,088
売掛金	688,338	1,044,674
商品	633,505	780,114
貯蔵品	455	352
その他	117,857	135,044
貸倒引当金	△554	△2,752
流動資産合計	4,833,149	4,822,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761,284	753,025
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	321,836	355,122
有形固定資産合計	2,265,776	2,290,802
無形固定資産		
455,677		486,109
投資その他の資産		
差入保証金	1,379,036	1,398,333
その他	233,339	185,941
投資その他の資産合計	1,612,375	1,584,274
固定資産合計	4,333,829	4,361,186
資産合計	9,166,978	9,183,709
負債の部		
流動負債		
買掛金	552,783	784,612
電子記録債務	670,707	490,172
短期借入金	124,800	124,800
未払法人税等	189,721	42,840
賞与引当金	127,802	37,314
ポイント引当金	26,381	27,711
資産除去債務	-	6,524
その他	655,577	933,114
流動負債合計	2,347,773	2,447,091
固定負債		
長期借入金	63,200	32,000
退職給付に係る負債	221,282	223,221
資産除去債務	299,092	298,192
その他	335,128	347,768
固定負債合計	918,702	901,181
負債合計	3,266,476	3,348,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	5,391,766	5,337,331
自己株式	△1,044	△9,335
株主資本合計	5,897,935	5,835,209
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,565	226
その他の包括利益累計額合計	2,565	226
純資産合計	5,900,501	5,835,436
負債純資産合計	9,166,978	9,183,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	4,168,686	4,140,105
売上原価	1,784,252	1,786,480
売上総利益	2,384,433	2,353,624
販売費及び一般管理費	2,152,271	2,125,375
営業利益	232,162	228,249
営業外収益		
受取利息	-	62
仕入割引	2,919	3,031
受取手数料	337	196
その他	1,768	1,891
営業外収益合計	5,025	5,182
営業外費用		
支払利息	944	837
為替差損	586	2,508
その他	206	608
営業外費用合計	1,737	3,955
経常利益	235,450	229,476
特別損失		
固定資産除却損	1,375	-
減損損失	10,216	-
特別損失合計	11,591	-
税金等調整前四半期純利益	223,858	229,476
法人税、住民税及び事業税	33,729	29,323
法人税等調整額	38,505	50,227
法人税等合計	72,235	79,551
四半期純利益	151,623	149,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,623	149,925

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	151,623	149,925
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,286	△2,339
その他の包括利益合計	△6,286	△2,339
四半期包括利益	145,336	147,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,336	147,586
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。